

# チャレンジ!!オープンガバナンス 2016

## 裾野の魅力と誇り、考え伝えよう!

### 「すそのんGO!」

#### 【概要】

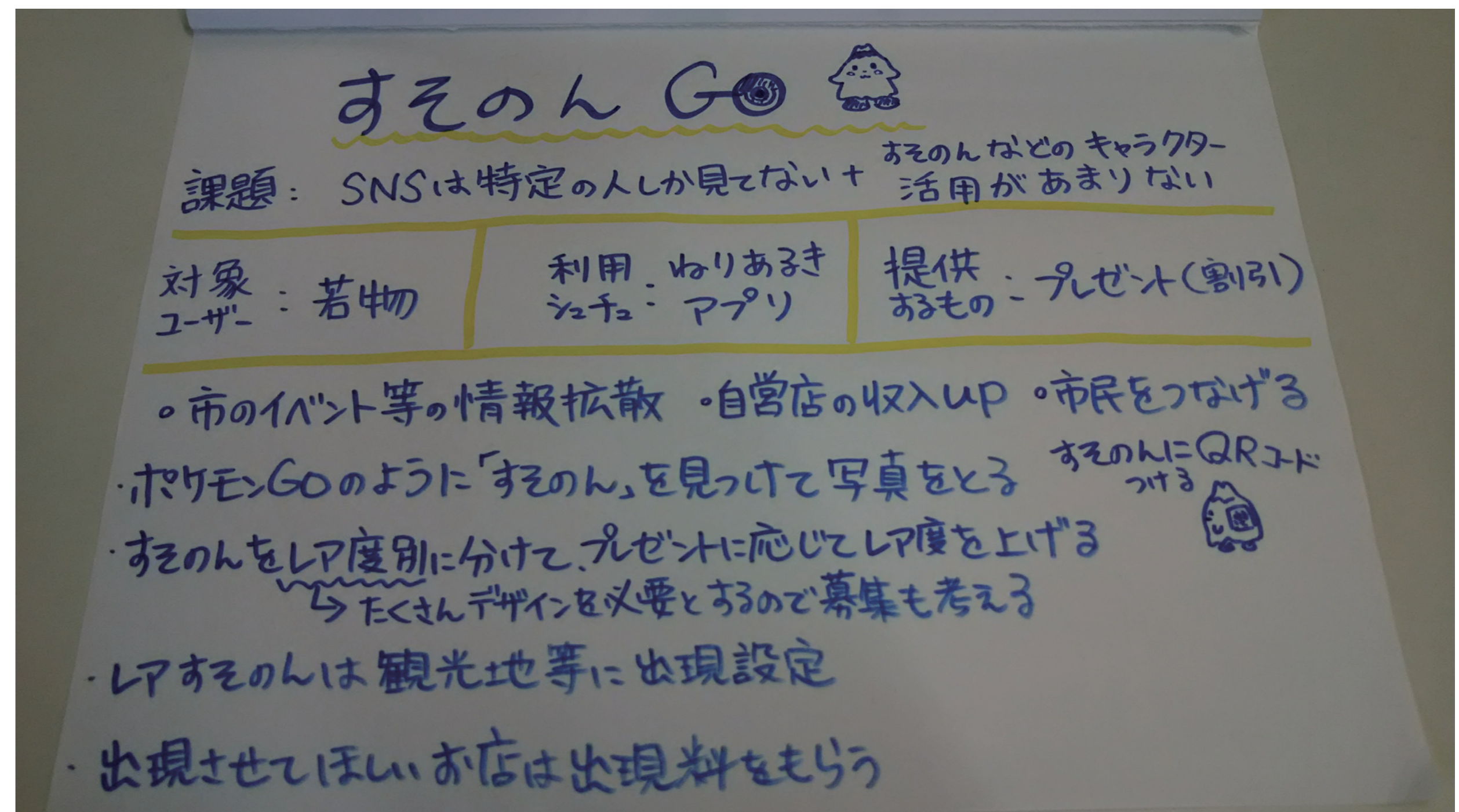
- ・市のイベント等の情報拡散、自営業の収入アップ、市民をつなげる、まちの練り歩きアプリ
- ・ポケモンGoのようにQRコードを使って「すそのん」を見つけて写真に撮る
- ・すそのんのレア度別に分けてプレゼントに応じてレア度を上げる
- ・出現して欲しい店は広告料を払う

#### 【価値】

- ・練り歩きのきっかけ作り
- ・市のイベント等の情報拡散
- ・地元商店の活性化

#### 【詳細】

- すそのんを探し、ポイントを集めることで、買い物で割引できるようになり利用者が増える、また、行ったことのない店も発見できる。
- 店側から掲載広告料を採るモデルも考えられる。
- 近隣に買い物に行っていた層を地元の買い物にひきつけることで経済効果がある。
- 親は買い物、子供はすそのんが好きという効果によって、他の土地に移住しないように土地への愛情をもってもらう。



↑ アイデアシート

### ● やりたいこと

- ・既にプロトタイプまで進めていること。
- ・中学生チームと Code for Numazu でチームを作り、IT 勉強会+学生による開発の場を作ることが決まったこと。
- ・事業化に向けて、市役所を巻き込み、実証実験を実施していく計画を 2017 年 1 月より打ち合わせ開始。
- ・今度、政策で出ている、地域ポイントに進められないか、企画室とも話を引き続きすすめる。
- ・地域通貨の代わりとなるか、このアプリで露払いとしての実験を行う。
- ・IT 勉強会と、効果を組み合わせた事例になる予定。

### ● 裏付け

#### 調査項目

確認項目	出典	効果/価値
公共施設	裾野市公共施設情報	88箇所 QRコード設置箇所
子供の人口	裾野市年齢別人口統計20130401	3-18才 8271人
ツイート数	裾野市年齢別人口統計20130401	13-40才の人口18700人
利用率	Gaiax調べ	18700人の約40% 8000名程度
開発期間	Code for Numazuにヒアリング	1 人月 (Code for Numazuにプロトタイプは依頼する)
運用費用	Code for Numazuにヒアリング	サーバーレンタル年間1.2万円

#### 【効果算出】

- ・ツイート数増加①  
ターゲット8000名が、毎月10箇所ポイントゲットし、呟く想定
  - ・ポイント交換②  
月一回、50%のターゲットが商店街での買い物する回数が増えると想定。  
食品関係を例とし、利益率10%、一回の買い物あたり2千円の想定し1回当たり、ポイントとの相殺して、100円の利益増加と見込み  
 $100円 \times 4000人 \times 12ヶ月 = 960万円の利益増$
  - ・広告依頼収入  
一ヶ月1万円\*依頼店舗数  
効果①+② > 開発費用 + 運用費用
- 初期では、地元IT団体と学生のコンビネーションで開発し、プロトタイプを繰り返し進める予定。実際に利益化できれば、事業化を再度検討する。

### ● 実現に向けて

2017年1月プロジェクト発足

・すそのん使用許可申請済み

<1月~>

中学生と、Code for NumazuでIT勉強会&プロトタイプ開発

実際に利用する学生集めはPJメンバーの学生に手伝っていただき

市役所の施設の利用許可を企画課・広報課と相談し対象施設を確定させる。

IT勉強会で、雛形のソースコードの利用方法や開発方法をCode for Numazu

から学生・地域に伝授し、実際にフィールドワークで利用実験をする。

<6月ぐらい目処>

・実証実験の際には、メディアも巻き込み、宣伝効果を高める。

・引き続きIT勉強会を実施する。裾野市ではIT勉強会は少ない

ため市民協働として、市民向けセミナーの形にできないか

市役所の担当部署と計画を立てる。

<12月ぐらい目処>

・すそのんの新デザインも募集する。

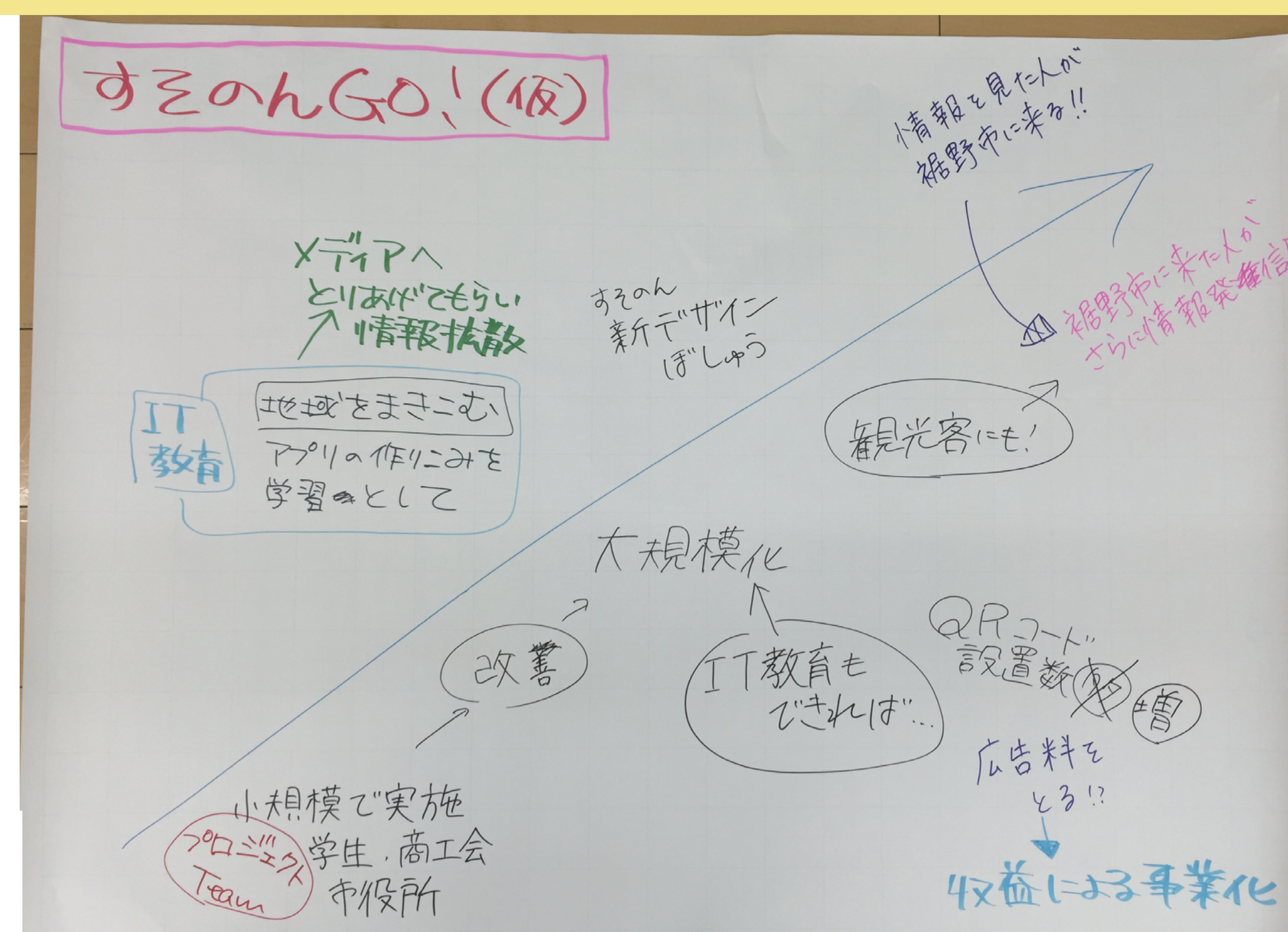
・利用数が伸びてくれば、観光客向けにも開放。

裾野市に来た方々がさらに呟ける仕組みを作る。

(観光場所とポイントの連携もする)

・広告参加企業を募り、事業化をする。

学生発のベンチャーとしてさらに情報を展開する。



5年後までのプロジェクトモデル↑

※おそのんもゲットする。



前

←すそのんGOの開発中画面

プロのエンジニアが作成